

第31回研究発表会を開催します

保健環境科学研究所及び原子力環境センターで行っている調査研究の内容を紹介します。

日時:平成29年 2月 3日(金) 13時30分～16時00分

場所:保健環境科学研究所(松江市西浜佐陀町582-1)

入場は無料ですので、どうぞお気軽にご来場ください。



発表演題



植物プランクトンの脂肪酸量・脂肪酸組成の違いがヤマトシジミへ及ぼす影響 (保健環境科学研究所 水環境科 主任研究員 嵯峨 友樹)

宍道湖で発生する代表的な植物プランクトン(珪藻、緑藻、藍藻)の脂肪酸量を測定し、これらの植物プランクトンを別々にヤマトシジミへ給餌しヤマトシジミの脂肪酸量、脂肪酸組成がどのように変化したかを報告します。

島根県で観測されるPM2.5の特徴と発生源種類の推定 (保健環境科学研究所 大気環境科 研究員 佐藤 高拓)

平成26年5月から平成28年3月まで、県内2地点(松江、隠岐)でPM2.5の連続したサンプリングを実施し、島根県で観測されるPM2.5の特徴について調査しました。さらに、PMF法によって発生源の種類を推定しましたので報告します。

島根県土壌中におけるプルトニウム蓄積状況調査 (原子力環境センター 測定分析グループ 研究員 金山 隆)

島根原子力発電所におけるプルサーマル計画を受けて、原子力環境センターでは、計画実施前から県内土壌に含まれるプルトニウムのバックグラウンド濃度を把握するため、県内各地で採取した土壌の放射能分析調査を行っています。今回はその概要を報告します。

島根県における自死の現状について (保健環境科学研究所 総務企画情報課 企画員 古割 加奈)

島根県の自殺死亡率は近年減少傾向にありますが、全国と比較すると高い状況です。自死に至る原因・動機について島根県ではどのような特徴があるのかを把握しましたので報告します。

乳児における腹部膨満、網状紅斑症状からのウイルス検出について (保健環境科学研究所 ウイルス科 研究員 藤澤 直輝)

2016年に腹部膨満、網状紅斑患者検体からヒトパレコウイルス3型が検出され、その後、複数の検体で同ウイルスが検出されました。ヒトパレコウイルスの概要と本県の検出状況について報告します。

島根県における腸管出血性大腸菌O157感染症の発生状況とClade解析の応用性の検討 (保健環境科学研究所 細菌科 研究員 林 芙海)

島根県における腸管出血性大腸菌O157感染症の発生状況や検査方法をご紹介しますとともに、DNA解析の一手法であるClade解析の結果を報告します。

■問合せ先

島根県保健環境科学研究所(松江市西浜佐陀町582-1)

Tel : 0852-36-8181 Fax : 0852-36-8171

E-mail : hokanken@pref.shimane.lg.jp

